

補助事業番号：19-1-014

補助事業名：平成19年度 自転車環境整備促進等補助事業

補助事業者名：財団法人 自転車産業振興協会

## 1. 補助事業の概要

### (1)実施内容

#### ①再生自転車の海外供与協力促進

再生自転車海外譲与自治体連絡会(MCCOBA)の平成19年度事業計画及び実施要領に基づき、次のとおり再生自転車の海外供与に伴う費用分担のうえ実施した。

(アジア)	ベトナム社会主義共和国 等	8カ国	計	1,275台
(アフリカ)	ザンビア共和国 等	5カ国	計	1,000台

---

合計 延13カ国 合計 2,275台

#### ②地域自転車競技振興促進

本年度の選考方針に基づき、ロードレース、MTB等の競技会・講習会を実施する団体の45大会に対して、1件につき600,000円を限度として費用分担のうえ実施した。

(ロードレース)	第6回枝折峠ヒルクライムinゆのたに 等	23大会	参加数	20,651人
(MTB・BMX)	第8回MTB運動会in吉無田 等	17大会	参加数	4,600人
(その他)	桜橋わんぱくトライアスロン 等	5大会	参加数	1,389人
合計			45大会	26,640人

#### ③オリンピックフェスティバルへの協賛

平成19年10月8日に駒沢オリンピック公園総合運動場にて開催された「2007オリンピックフェスティバル」へ協賛するとともに、自転車PRコーナーにおいて自転車の広報及びパネル展示等を行った。

#### ④パレスサイクリング等運営

自転車の貸出・規制等業務

パレスサイクリングにおいて、貸出用自転車250台により、日曜日に40回開催し、自転車貸出数33,764人、自走・持込者推定5,947人、合計39,711人の利用があった。また、名城公園内サイクリングコースにおいて、貸出用自転車245台により、日曜日等に自転車貸出業務を70回開催し延べ19,848人の利用者があった。

#### ⑤自転車安全利用推進等

##### 1) マスメディア広報

消費者の安全を第一に考えた、「自転車安全基準」の目印となるBAAマーク制度についての周知徹底を図るため、新聞広告を実施するとともに展示会に出展した。

##### 2) パブリシティ活動

週間「読売ウィクリー」、月刊「時評」に対してパブリシティ等の広告を行った。

### (2)成果

#### ①再生自転車の海外供与協力促進

アジア、アフリカの延13カ国に、合計2,275台の再生自転車の海外供与協力促進を行ったことにより、再生自転車の資源有効利用及び国際貢献を図ることができた。

## ②地域自転車競技振興促進

自転車競技大会（ロードレース、MTB、BMX等の競技会・講習会）が各地域で実施されたことにより、各種自転車競技の普及及び振興、自転車競技人口拡大を図ることができた。

## ③サイクルフェスティバル等開催

オリンピックフェスティバル開催にあたり新聞等に報道され、一般参加型イベントとして関心を高めるとともにサイクルスポーツとしての自転車をアピールすることができた。

## ④パレスサイクリング等運営

パレスサイクリング運営及び名城自転車天国については、開設以来多数の来場者をはじめマスコミ等関係者から業界の公益増進活動として高く評価されるとともに、地域住民の健全な体育活動増進をはかるモデル事業として定着したことは、自転車の安全利用の増進を図るうえで多大に寄与したものと確信する。

## ⑤自転車安全利用推進

BAAマーク制度広報の実施により、消費者に対して安心・安全で品質の確かなBAAマーク付自転車を選択する意識を啓発することができた。

## (3) 今後予想される効果

### ①再生自転車の海外供与協力促進

社会的な国際貢献及び国内における放置自転車の再利用促進において有意義であるとともに、国連家族計画連盟等の国際機関からも高く評価を受け、今後、リサイクル及び国際貢献を一層促進させる効果が予想される。

### ②地域自転車競技振興促進

各地域の自転車競技大会等の開催は各種自転車競技の普及及び振興を促進し、自転車競技人口の拡大が図れるものと予想される。

### ③オリンピックフェスティバルへの協賛

オリンピックフェスティバルの開催により、イベントを通じて自転車の持つ魅力をアピールすることができ、サイクルスポーツ人口の底辺拡大につながるものと予想される。

### ④パレスサイクリング等運営

本事業の実施により、地球温暖化防止策の一環として注目されている自転車の安全利用の拡大と交通事故防止推進のための貢献が期待される。

また、幼児から高齢者に至る市民の健康及び体力増進に寄与し健全で明るい社会づくりに役立つものと予想される。

### ⑤自転車安全利用推進等

消費者の自転車に対する品質の意識が高まるとともに自転車の安全性確保に一層寄与することが期待できるとともに、企業、販売店においては、高品質、高付加価値な自転車の需要が促進できると予想される。

## 2. 本事業により作成した印刷物

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| ・ 自転車乗り方教室用終了証     | 3,000部  |
| ・ パレスサイクリング貸自転車申込書 | 60,000枚 |

3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人 自転車産業振興協会(ジテンシャサンギョウシンコウキョウカイ)

住所：107-0052

東京都港区赤坂 1-9-3

代表者名：会長 阿部 忠壽(アベ タダヒサ)

担当者名：統括事業部 次長 丸山 俊英(マルヤマ トシヒデ)

担当部署：統括事業部

電話番号：03-5572-6401

F A X：03-5572-6407

U R L：<http://www.jbpi.or.jp>